

令和5年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	6002	領域略称名	星惑星形成
研究領域名	新しい星形成論によるパラダイムシフト:銀河系におけるハビタブル惑星系の開拓史解明		
領域代表者名 (所属等)	犬塚 修一郎 (名古屋大学・大学院理学研究科・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、巨大分子雲から星団の誕生、原始惑星系円盤から惑星の進化を経てハビタブル惑星の形成に至る壮大な時空間スケールの現象を、最新の望遠鏡と観測装置による観測と理論から研究した。海外展開を含む観測計画の一部には、変更を余儀なくされたものや計画が遅れたものが見られたが、理論研究を中心とするその他の部分では期待を上回る成果も得られており、全体としては新学術領域の形成に至る重要な前進があったと評価できる。その成果を本研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があったと認められる。

また、中間評価にある「太陽系の誕生場所を突き止める」という目標に関しても、詳細な研究により、銀河系内での恒星の移動の一般的性質を明らかにするとともに、太陽系の誕生場所について確度の高い結果が得られた。他方、観測の遅れが生じた課題に関しては、今後も本研究領域の他グループとの必要な協働を継続し、優れた成果を上げることを期待したい。